

Tsuyama College		Year	2019	Course Title	英語 V
Course Information					
Course Code	0063		Course Category	General / Compulsory	
Class Format	Lecture		Credits	School Credit: 1	
Department	Department of Mechanical Engineering		Student Grade	5th	
Term	First Semester		Classes per Week	2	
Textbook and/or Teaching Materials	教科書：『Basic Literacy for the Sciences』（金星堂） ・ 参考書：英和辞典（電子辞書もしくは冊子）				
Instructor	YAMAGUCHI Yumi, SUMIDA Mitsuko, HORI Hidenobu				
Course Objectives					
学習目的：4技能（聴き・読み・書き・話す）をバランスよく養成する。					
到達目標： 1. 英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を持ち、具体的情報や考えなどを理解したり伝えたりできる。 2. 英文を正しい区切りやイントネーションで音読することができる。 3. 本文の要旨を英語でまとめることができる。 4. ペアワークやプレゼンテーションにおいて口頭で自分の考えを伝えることができる。 5. 日本語と特定の言語を用いて相手の意見を聞くことができ、効果的な説明方法や手段を用いて、自分の意見を伝え円滑なコミュニケーションを図ることができる。					
Rubric					
	優	良	可	不可	
評価項目1	英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を持ち、具体的情報や考えなどを理解したり伝えたりできる。	英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を持ち、具体的情報や考えなどを理解したり伝えたりがおおむねできる。	英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を持ち、具体的情報や考えなどを理解したり伝えたりが最低限できる。	英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を持ち、具体的情報や考えなどを理解したり伝えたりできない。	
評価項目2	英文を正しい区切りやイントネーションで音読することができる。	英文を正しい区切りやイントネーションで音読することができる。	英文を正しい区切りやイントネーションで音読することができるが最低限できる。	英文を正しい区切りやイントネーションで音読することができない。	
評価項目3	本文の要旨を英語でまとめることができる。	本文の要旨を英語でまとめることができる。	本文の要旨を英語でまとめることができるが最低限できる。	本文の要旨を英語でまとめることができない。	
評価項目4	ペアワークやプレゼンテーションにおいて口頭で自分の考えを伝えることができる。	ペアワークやプレゼンテーションにおいて口頭で自分の考えを伝えることができる。	ペアワークやプレゼンテーションにおいて口頭で自分の考えを伝えることが最低限できる。	ペアワークやプレゼンテーションにおいて口頭で自分の考えを伝えることができない。	
評価項目5	日本語と特定の言語を用いて相手の意見を聞くことができ、効果的な説明方法や手段を用いて、自分の意見を伝え円滑なコミュニケーションを図ることができる。	日本語と特定の言語を用いて相手の意見を聞くことができ、効果的な説明方法や手段を用いて、自分の意見を伝え円滑なコミュニケーションを図ることができる。	日本語と特定の言語を用いて相手の意見を聞くことができ、効果的な説明方法や手段を用いて、自分の意見を伝え円滑なコミュニケーションを図ることができるが最低限できる。	日本語と特定の言語を用いて相手の意見を聞くことができず、効果的な説明方法や手段を用いて、自分の意見を伝え円滑なコミュニケーションを図ることができない。	
Assigned Department Objectives					
Teaching Method					
Outline	<p>一般・専門の別：一般 学習の分野：外国語</p> <p>必修・履修・履修選択・選択の別：必修</p> <p>基礎となる学問分野：英語学・言語学・英米 / 英語圏文学</p> <p>学科学習目標との関連：本科目は一般科目学習目標「(5) 国際性に富んだ人材を育成するための幅広い教養を身につける」に相当する科目である。</p> <p>技術者教育プログラムとの関連：本科目が主体とする学習・教育到達目標は「(F) コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力の育成、F-3：技術者に必須の外国語である英語でコミュニケーションができること」である。</p> <p>授業の概要：教材を読み込んで要旨を英語でまとめ、それを口頭で相手に伝える練習をする。</p>				
Style	<p>授業の方法：本科目は前期に開講する。本文内容を理解したうえで、音読をおこない、英語で要旨をまとめ、その内容についてプレゼンテーション形式で発表をおこなう。また、小テストを5回おこなう。</p> <p>成績評価方法：2回の定期試験の結果を平均して評価する（50%）。定期試験の結果に加え、平素の課題、小テスト、発表など（50%）を総合して成績評価をおこなう。試験には教科書・ノートの持込みを許可しない。場合によっては再試験を実施する。</p>				
Notice	<p>履修上の注意：本科目は学年の課程修了のために履修が必須である。</p> <p>履修上のアドバイス：予習・復習・課題を指示するので必ず取り組むこと。</p> <p>基礎科目：英語I（1年）、英語演習I（1）、英語II（2）、英語演習II（2）、英語III（3）、英語IV（4）、選択英語I（4）</p> <p>関連科目：選択英語II（5）</p> <p>受講上のアドバイス：積極的に授業に参加すること。教科書・英和辞書を持参し、予習や課題に取り組んだうえで授業に臨むこと。小テストは適宜おこなうので、必ず参加すること。</p> <p>遅刻について：授業開始20分すぎでの入室は欠課扱いとする。</p>				
Course Plan					
			Theme	Goals	

1st Semester	1st Quarter	1st	●ガイダンス (予習・復習など学習法の説明, 受講上の注意) Unit 1	英語で数字を表現できる。
		2nd	●Unit 2	英語で数式を表現できる。
		3rd	●Unit 3 小テスト①	英語で数学の記号を覚える。
		4th	●Unit 4	英語で科学用語を覚える。
		5th	●Unit 5 小テスト②	工学に関する英語を理解する。
		6th	●Unit 6	風力エネルギーに関する英語を理解する。
		7th	●Unit 7 小テスト③	太陽エネルギーに関する英語を理解する。
		8th	●前期中間試験	7週までのまとめができる。
	2nd Quarter	9th	●前期中間試験返却と解説 Unit 8	前期中間試験のフィードバックができる。地震に関する英語を理解する。
		10th	●Unit 9	台風やハリケーンに関する英語を理解する。
		11th	●Unit 10 小テスト④	火山に関する英語を理解する。
		12th	●Unit 11	Wi-Fiに関する英語を理解する。
		13th	●Unit 12 小テスト⑤	ロボットに関する英語を理解する。
		14th	●Unit 13	製造や加工技術に関する英語を理解する。
		15th	●前期末試験	14週までのまとめができる。
		16th	前期末試験の返却と解説	前期末試験のフィードバックができる。

#### Evaluation Method and Weight (%)

	試験	発表	相互評価	態度	小テスト	課題	Total
Subtotal	50	15	0	0	25	10	100
基礎的能力	50	10	0	0	25	5	90
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	5	0	0	0	5	10